

進行がん患者における Palliative Prognostic Index を用いた予後予測の有用性に関する検証

1. 研究の対象

2021年1月～2025年12月に当院の緩和ケア内科外来を初診で受診された方

2. 研究目的・方法

進行がん患者の診療において、治療方針の決定に大きく関わるため、生命予後の予測は極めて重要である。当院においては初診時に PPI を算出し、予後予測に活用しているが、PPI による予測が必ずしも正確とは限らず、PPI による予測の限界を感じる場面も多い。

そこで本研究では、当院において PPI を用いた予後予測の実態を明らかにすることを目的とし、PPI による予後予測の感度および特異度を算出する。加えて、がんの種類や患者の年齢層ごとに詳細な解析を行うことで、PPI を用いたより精度の高い予後予測の可能性を検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、初診日、生年月日、性別、PPI スコア、がん種 等

試料：該当なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：川崎市立井田病院 腫瘍内科 高見澤重賢